

ロシア中央銀行の利下げ実施とロシア株式市場見通し

大和証券投資信託委託株式会社

【ロシア利下げ実施】

10月29日(現地)、ロシア中央銀行は政策金利であるリファイナンス金利を0.5%引き下げ、9.5%とすることを発表しました。今回の利下げは、今年4月以降の利下げサイクルの中で8度目の利下げで合計の利下げ幅は3.5%に達しました。ロシア経済は、景気低迷から第2四半期GDP成長率が10.9%(前年同期比)で2009年通期のGDP成長率は8%台になる見込みであり、金利引き下げにより銀行の貸出促進を図り、経済を活性化させることを目的としています。金融緩和政策は徐々に効果が出てきており、企業向け融資の平均金利は8月の15.1%から9月には14.5%に低下しています。

9月消費者物価指数は10.7%(前年同月比)と前月の11.6%(前年同月比)から低下しました。インフレ低下傾向が続けば年内に更なる利下げを実施することが予想されます。

【ロシア株式市場見通し】

ロシア株式市場は、短期的にはRTS指数が年初来で+118%(現地10月29日時点)上昇していることによる利益確定売りから値動きの荒い展開が予想されますが、中長期的には世界的な景気回復期待、信用市場の回復から資金調達環境が改善しつつあること、投資家のリスク許容度が増し資金流入が続いていること、他の市場と比較して株価評価面で割安であることなどを支援材料として、底堅い動きが継続するものと予想しています。

今回の利下げに関しては、ロシアのインフレ率が低下基調にあり、また原油価格上昇を受けて通貨ルーブルが堅調に推移していることから、ロシア中央銀行がさらなる利下げを実施する可能性は高いものと思われます。利下げ効果が浸透するまでにはある程度の期間が必要ですが、企業の調達金利の低下や国営銀行が資金繰の厳しい不動産開発会社に対して政府保証を付与する動きなどもあり、こうした信用市場回復を支援する政策が中長期では株式市場にプラス効果を与えることが予想されます。

以上

RTS指数(米ドル建て)



政策金利と消費者物価指数



政策金利の直近値は2009年10月30日以降適用されるレート(予定)を使用。
消費者物価指数は2009年9月末まで表示。

(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会